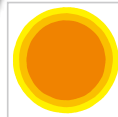


第八次宮崎県農業・ 農村振興長期計画

後期計画

持続可能な魅力ある
みやざき農業の実現



日本の
ひなた
宮崎県

令和8年3月

宮崎県



～次代につながる 「持続可能な魅力あるみやざき農業」 の実現を目指して～

本県農業は、昭和35年にスタートした「防災営農計画」を原点として、みやざきブランドやフードビジネス振興等の取組を展開しながら、農業産出額3,725億円、全国第7位の食料供給基地へと発展してまいりました。また、経済活動の土台となる基幹産業として、食品加工や観光など多様な業種と結びつき、本県の産業振興や雇用創出に貢献するとともに、県土や自然環境を保全し、世界農業遺産に代表される伝統文化を育むなど、本県の社会・経済において極めて重要な役割を担っています。

令和3年度から開始した「第八次宮崎県農業・農村振興長期計画」では、あらゆる危機事象に負けない「新防災」と、賢く稼げる「スマート化」をキーワードに、「持続可能な魅力あるみやざき農業」の実現に向けて、農業者や関係機関・団体の皆様が一体となり、農業法人の育成や担い手への農地集積、高温条件下でも品質や食味が優れる普通期水稻の新品種「ひなた舞」の育成など、一つひとつ成果を重ねてまいりました。

一方で、近年の気候変動に伴う自然災害の増加や、地政学リスクの増大に伴う資材価格の高騰など新たな課題が顕在化しています。加えて、農業従事者の減少・高齢化も進行しており、本県農業を取り巻く情勢は一層厳しさを増しています。

こうした中、国は新たな「食料・農業・農村基本計画」を策定し、食料安全保障の確保に向けた農業の構造転換を集中的に進めており、本県が果たす「食料供給基地」としての役割は重要性を増しています。また、令和5年4月に開催されたG7宮崎農業大臣会合における、農業の生産性向上と持続可能性の両立に向けた「宮崎アクション」の採択や、令和6年4月、県内13JAの合併による、県域JA「宮崎県農業協同組合（JAみやざき）」の発足など、本県農業の未来を切り拓く動きが生まれています。

私は、このような大きな時代の転換期をチャンスと捉え、厳しい現状やあらゆるリスクを正面から受け止めた上で、最先端の技術の導入や付加価値の向上に取り組みながら、本県農業を次代へと確実につないでいくことが重要であると考えています。

このため、後期計画では、「新防災」と「スマート化」を継承・発展させながら、特に重点的かつ横断的に取り組むべき施策を取りまとめた「重点プロジェクト」を新たに設けました。本県が生産基盤を維持しながら「食料供給基地」としての役割を将来にわたり果たせるよう、「次代を担う人材・体制づくり」「生産性の高い農業の展開」「持続性の高い農業・農村の実現」の三つの柱により、人材の確保・育成及び、「生産性」と「持続性」を両立した「稼げる農業」の実現を一体的に推進してまいります。あわせて、地域別の重点施策をとりまとめた地域基本計画（通称：地域プラン）を策定し、目標達成に向けた施策を実効的に展開します。

防災営農計画から65年、本県農業は幾多の困難を乗り越え、常に進化を続けてまいりました。私たちが受け継いできた農業・農村は、安全・安心な食を支え、美しい景観や豊かな自然、伝統や文化を未来へとつなぐ、かけがえのない「日本のひなた宮崎県」の宝です。その価値や重要性を県民の皆様と分かち合いながら、次代につながる「持続可能な魅力あるみやざき農業」の実現を目指してまいります。

終わりに、この計画の策定に当たりまして、御協力いただきました宮崎県農政審議会の皆様方をはじめ、貴重な御意見を賜りました多くの方々に、厚くお礼を申し上げます。

令和8年3月

宮崎県知事

河野 俊嗣



第八次宮崎県農業・農村振興長期計画

後期計画

目次

< 序 > 計画の策定にあたって p1～

1	計画策定の趣旨	1
2	計画の性格と役割	2
3	計画の構成	2
4	計画の期間	3
5	策定方法	3
6	計画の全体構成	4
7	計画の概要	5
8	農業・農村振興長期計画の変遷	7

< 第1編 > 長期ビジョン p8～

第1章 みやざき農業の現状

1	本県農業の生産力	9
2	農家・農業就業者の推移	11
3	農地の利用状況の推移	13
4	農業基盤整備の状況	14
5	県内産業における農業の位置付け	15
6	県内雇用情勢の推移	16

第2章 社会情勢の変化と時代の潮流

1	人口減少・少子高齢化社会の進展	17
2	グローバル化の進展、海外展開等の状況	18
3	農業資源・農業経営の状況	19
4	国内の食料消費の動向	20

第3章 危機事象の発生と対応

1	気候変動の影響と対応	21
2	地震・火山災害の発生と対応	22
3	家畜伝染病の発生と対応	23
4	植物病虫害の発生と対応	24

第4章 農業政策をめぐる動向

1	農業政策の動き	25
2	地域計画の取組	28
3	県域JAの誕生	29
4	G7農業大臣会合の開催	30





第5章 計画の目標と目指す将来像

1 計画の目標	31
2 目指す将来像と3つの視点	35

第6章 農業構造展望と農業生産の目標

1 農業構造の展望	
(1) 総農家・営農経営体の展望	37
(2) 農業就業者の展望	38
(3) 耕地面積の展望	38
(4) 本県農業の生産構造の展望	39
2 農業生産の目標	
(1) 作付（栽培）面積・飼養頭羽数及び主要品目の生産量	41
(2) 農業産出額	42

<第2編> 重点プロジェクト

p44～

1 基本的な考え方	45
2 構成	45
3 重点プロジェクト	47
(1) 次代を担う人材・体制づくり	47
(2) 生産性の高い農業の展開	49
(3) 持続性の高い農業・農村の実現	51

<第3編> 基本計画

p54～

第1章 施策の体系	55
-----------------	----

第2章 施策の具体的な展開方向

1 “農の魅力を産み出す” 人材の育成と支援体制の構築	
(1) 次代を担うみやざきアグリプレーヤーの確保・育成	
① 新規就農・参入支援による人材の確保	57
② 地域農業をけん引する中核的人材の育成	58
③ 多様な農業者が活躍できる環境づくり	59
(2) 産地サポート機能を有する新たな体制の構築	
① 農業支援サービスの充実・強化	60
② 経営資源・技術の円滑な承継	61
③ 多様な雇用人材の確保・調整	62
2 “農の魅力を届ける” みやざきアグリフードチェーンの実現	
(1) スマート生産基盤の確立による産地革新	
① スマート農業技術の普及・高度化	63
② 効率的な生産基盤の確立	64

③ 分業による生産体制の構築	65
④ 安定した生産量の確保	66
⑤ 産地加工機能の強化	67
⑥ 産地革新を進める試験研究・普及の強化	68
(2) 産地とマーケットをつなぐ流通構造の変革	
① 物流の効率化と供給機能の強化	69
(3) 産地と流通の変革を生かした販売力の強化	
① 共創ブランディングの展開	70
② 食資源の高付加価値化に向けた取組の強化	71
③ 世界市場で稼ぐ戦略的輸出体制の整備	72
3 “農の魅力を支える” 力強い農業・農村の実現	
(1) 次世代に引き継ぐ魅力あふれる農山村づくり	
① 地域の多様な人材が協働して稼げる体制の強化	73
② 集落の魅力を発揮し未来につなげる農山村づくり	74
(2) 持続的で安全・安心な農業・農村づくり	
① 資源循環型産地づくりとエネルギー転換の推進	75
② 災害に強く持続可能な生産基盤の確立	76
③ 家畜防疫体制の強化	77
④ 植物防疫体制の強化	78
⑤ 安心して営農するための農業セーフティネットの推進	79
⑥ 環境に優しい農業の展開	80
⑦ 食料・農業・農村に対する県民の理解醸成	81

第3章 品目・畜種別の具体的な展開方向

1 米	82
2 施設野菜	83
3 露地野菜	84
4 花き	85
5 果樹	86
6 茶	87
7 その他の作物	88
8 肉用牛	89
9 酪農	90
10 養豚	91
11 養鶏	92
12 その他家畜	93
13 飼料作物	94

第4章 地域別の具体的な展開方向

1 策定の目的	95
---------------	----



2 地域区分	95
3 地域別の具体的な展開方向	97
(1) 中部地域基本計画（中部地域プラン）	97
(2) 南那珂地域基本計画（南那珂地域プラン）	99
(3) 北諸県地域基本計画（北諸県地域プラン）	101
(4) 西諸県地域基本計画（西諸県地域プラン）	103
(5) 児湯地域基本計画（児湯地域プラン）	105
(6) 東臼杵地域基本計画（東臼杵地域プラン）	107
(7) 西臼杵地域基本計画（西臼杵地域プラン）	109

第5章 農業経営モデル

1 農業経営モデルの意義・目的	111
2 農業経営モデルの考え方（方向性）	111
3 農業経営モデル活用上の留意点	112
4 品目・畜種別経営モデル	
(1) 施設野菜	
① スマート化モデル	113
② 法人化モデル	114
(2) 露地野菜	
① スマート化モデル	115
② 法人化モデル	116
(3) 肉用牛	
① スマート化モデル	117
② 法人化モデル	118

< 第4編 > 計画実現に向けた推進体制

p120～

1 役割分担	121
2 計画の推進体制	122

< 資料編 > 参考資料

p124～

1 主な用語	125
2 第八次宮崎県農業・農村振興長期計画（後期計画）の策定経過	137
3 宮崎県農政審議会審議員名簿	139
4 第八次宮崎県農業・農村振興長期計画（後期計画）の策定体制	140